

## 好評の社会人大学院

〜リフレッシュのためにも大学院で学ぼう〜

大学ができて33年目に開設された大学院は、経済経営研究科に経済学、経営政策の2専攻と外国語学研究科に英語学専攻を設置している。さらに、来年4月には、中国語学専攻を設置予定。大学院第1期生は48名が入学（本学卒業生10名）。その大半が経営政策専攻の社会人で、最高年齢61才、平均年齢41才。

この経営政策専攻は、昼夜開講制で授業も夜間は名古屋市内で行なうほか、集中した授業などで名古屋地区唯一の本格的な社会人大学院と好評である。



来年度には、中国語学専攻も昼夜開講制で開設されるので受験者が増加しているが、社会人を優先して受入れている。4専攻とも、教員免許専修資格が取得できるようになっている。

問い合わせ先 大学院事務室  
(0561)41-3968

今回、実際に大学院に入学され、経営政策専攻修士課程で勉学に励まれている篠田さんにコメントをいただきました。

### 大学院生として再び母校に

経済学部商学科 1970年卒 篠田 信



同窓会の皆さん今日は、先輩並びに同期、後輩の皆さんは、いかがお過ごしでしょうか。この紙面をお借りして、長年のご無沙汰をお詫びすると共に、私の近



況をお伝えします。

振り返って見ますと、私が学部を卒業してすでに27年経ちました。卒業後は専門商社に勤め、今日に至っております。また、同じように当社には母校の同期生、後輩が合わせて4人おります。最近では、取引先で若い名古屋学院大学卒業生に会うことも、しばしばあります。この数年間に外国語学部・商学部が設置されて多くの人材が育てられ、社会に輩出されたことによると思います。私達の時代の単科大学から大きく進歩、発展し続けている成果であり、卒業生として望んでいた事でもあります。

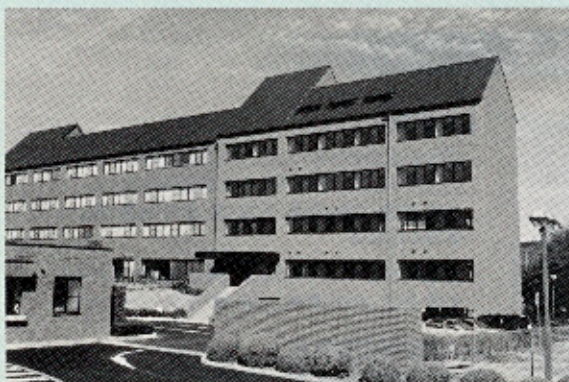
もう一つ私達卒業生が要望してきたことが、実現したことを皆さんご存じでしょうか。今年4月に「大学院」が開設されたことです。私は社会人入試を受験し、現在は本大学院の経営政策専攻修士課程の学生となつて、再び母校に戻ってきました。大学院開設の最大の目的は、私達社会人に広く門戸を開き、社会のニーズに応えることにあるため、科目や授業時間（昼夜開講制）に配慮がされています。さらに、通学には名古屋栄にサテライト・キャンパスが設置されており、私にとつても仕事と院生の両立が可能となっています。入学が決まった時、息子や娘は「その年でまた勉強

を？」、「カミサンは「授業料は誰が負担？」と言われましたが、また一人暮らしが増えたとして、今では全員で応援してくれています。

大学院生となつて既に6ヶ月になりますが、これまでの知識・経験とは違った新鮮な視点で見ると、本質がきつちり考えられる、見えるようになる、まさに新たな世界に広がりがつあります。

また、学生相互の交流も極めて人間的で、年齢、性別、職業、地位、国籍に関係なく同じ目的をもつものとして尊敬しあうことができます。さらに、理屈が理屈抜きで楽しめることができます。このことは、幅広い豊富な先生方と大学院事務室の皆さんによる社会人院生に対するきめ細かい配慮のお陰であり、名古屋学院大学の精神が引き継がれ、生かされているからと、言えます。

これからの一年半も、学生として50代の青春を爽し、価値あるものになりたいと考えております。本大学院が卒業生や、一般社会人のためのグローバルな研究の場になるよう、伝統を創つていきたいと思っております。この紙面を、お借りできたことに感謝いたします。



現在開講中

経済経営研究科

外国語学研究科

新設申請中

外国語学研究科

経済学専攻  
経営政策専攻  
英語学専攻  
中国語学専攻